

令和7年4月14日	
所 属	歴史博物館
所属長	門田真由美
電 話	06-6489-9801

**大阪・関西万博の開催に合わせて、
展覧会「にっぽん博覧会ものがたり」を開催します。**

1 概 要

4月13日から10月13日まで、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）が開催されます。これを記念して、尼崎市立歴史博物館では、資料点数約4700点にも及ぶ当館を代表するコレクションである博覧会資料コレクションのなかから逸品を展示し、明治から平成までの日本の博覧会の歩みを紹介する展覧会「にっぽん博覧会ものがたり」を、4月から9月まで2期に分けて尼崎市立歴史博物館（前期）と尼信会館（後期）で開催します。

2 尼崎市立歴史博物館第14回企画展 にっぽん博覧会ものがたり《前期・近代編》

(1) 会期 令和7年4月19日（土）～6月22日（日）

月曜日休館〔ただし5月5日（月祝）は開館し5月7日（水）が休館〕

9時～17時（入館は16時30分まで）

(2) 会場 尼崎市立歴史博物館 3階 企画展示室・展示学習室（尼崎市南城内10-2）

(3) 内容 明治4年（1871）に京都で日本初の博覧会が開催されてから昭和の終戦までに国内で開催された主な博覧会に関する資料を展示し、近代日本の博覧会の歩みを紹介する。

(4) 取り上げる主な博覧会

- ・明治四年京都博覧会（明治4・1871）
- ・湯島聖堂博覧会（明治5・1872）
- ・京都博覧会（明治5・1872～）
- ・第1回内国勸業博覧会（明治10・1877）～第5回内国勸業博覧会（明治36・1903）
- ・東京勸業博覧会（明治40・1907）
- ・東京大正博覧会（大正3・1914）
- ・平和記念東京博覧会（大正11・1922）
- ・大札記念京都博覧会（昭和3・1928）
- ・名古屋汎太平洋平和博覧会（昭和12・1937）
- ・大東亜建設博覧会（昭和14・1939）
- ・幻の日本万国博覧会（昭和15・1940） 展示点数約110点

(5) 関連事業

① 水曜歴史講座（プレ事業） ※開催済み

・日時 4月9日（水） 午後2時～4時

・会場 歴史博物館 3階講座室

- ・講師 桃谷和則（当館学芸員）
- ・演題 収蔵資料で見る近代日本の博覧会

② 記念講演会

- ・日時 ５月１０日（土）午後２時～４時
- ・会場 歴史博物館 ３階講座室
- ・講師 並木誠士（京都工芸繊維大学美術工芸資料館特定教授）
- ・演題 京都と博覧会

③ ギャラリートーク

- ・４月２０日（日）、５月５日（月祝）・１８日（日）、６月１日（日）・２１日（土）
- ・会場は展示会場
- ・時間はいずれも午後２時～３時

(6) 主催等

- ・主催 尼崎市教育委員会・尼崎市
- ・協力 一般社団法人あまがさき観光局・尼崎信用金庫

3 問い合わせ先

尼崎市立歴史博物館（兵庫県尼崎市南城内１０－２、TEL 06－6489－9801）

担当学芸員：桃谷和則

(参考) 後期展の予定

- (1) 名称 あましん&れきはくコラボ展 にっぽん博覧会ものがたり《後期・現代編》
- (2) 会期 令和７年７月１９日（土）～９月２１日（日）
月曜日・祝休日（土曜日・日曜日と重なる場合は開館）
１０時～１６時
- (3) 会場 尼信会館 ３階 展示室（尼崎市東桜木町３）
- (4) 内容 昭和戦後に国内で開催された主な博覧会に関する資料を昭和４５年大阪万博を中心に展示し、戦後日本の博覧会の歩みを紹介する。
- (5) 取り上げる主な博覧会
 - ・アメリカ博覧会（昭和２５・１９５０）
 - ・日本産業貿易博覧会（昭和２５・１９５０）
 - ・尼崎防潮堤完成記念栄える産業博覧会（昭和２９・１９５４）
 - ・日本万国博覧会（大阪万博、昭和４５・１９７０）
 - ・沖縄海洋博覧会（昭和５０・１９７５）
 - ・ポートピア‘８１（昭和５６・１９８１）
 - ・国際科学技術博覧会（つくば科学万博、昭和６０・１９８５） 展示予定数 未定
- (6) 関連事業
未定
- (7) 主催等
 - ・主催 尼崎信用金庫・尼崎市教育委員会・尼崎市
 - ・協力 一般社団法人あまがさき観光局

以 上

尼崎市立歴史博物館第14回企画展

につぽん博覧会ものがたり

前期・近代編

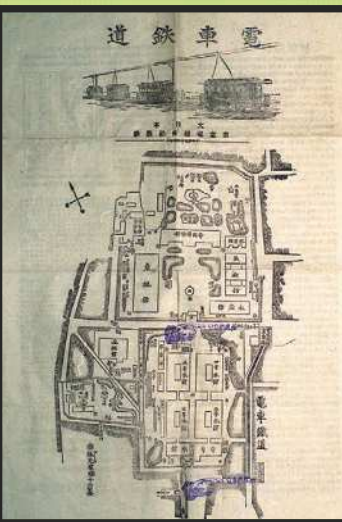
観覧無料

博覧会諸人群集之図

明治5年(1872)に東京の湯島聖堂大成殿で開催された、日本初の政府主催博覧会「湯島聖堂博覧会」の様子を描いた木版多色刷版画(錦絵)です。



湯島聖堂博覧会に出展された名古屋城金鯱の版画です。



明治23年(1890)に東京の上野で開催された第3回万国勸業博覧会では日本初の電車が走りました。



大正3年(1914)に東京の上野で開催された東京大正博覧会の夜景とケーブルカーを描いた版画です。



昭和14年(1939)に阪急西宮大運動場で開催された大東亜建設博覧会のパンフレットです。

令和7年(2025)4月19日(土)

～6月22日(日)

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日 月曜日[ただし5月5日(月祝)は開館し、7日(水)が休館]
会場 尼崎市立歴史博物館 3階 企画展示室・展示学習室

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)の開催に合わせて、尼崎市立歴史博物館が所蔵する「自称日本一」の博覧会資料コレクションから、日本初の博覧会である京都博覧会(明治4年、1871)から昭和戦前期までの近代日本の博覧会に関する貴重な資料を展示します。

後期・現代編は
尼信会館で開催

本展に引き続き、戦後日本の博覧会に関する資料を展示する「後期・現代編」を、尼崎信用金庫との共催で次の通り開催します。

会期 7月19日(土)～
9月21日(日)

会場 尼信会館 3階
(尼崎市東桜木町3)

入館無料

詳細後報、乞うご期待

水曜歴史講座(プレ事業) 受講無料

日時 4月9日(水) 午後2時～4時
演題 収蔵資料で見る近代日本の博覧会
講師 当館学芸員
会場 当館 3階 講座室
申込 事前申込不要、定員当日先着 80名

記念講演会 受講無料

日時 5月10日(土) 午後2時～4時
演題 京都と博覧会
講師 京都工芸繊維大学美術工芸資料館
特定教授 並木 誠士 氏
会場 当館 3階 講座室
申込 事前申込不要、定員当日先着 80名

ギャラリートーク 参加無料

企画展会場で主な展示資料を解説します。
日時 4月20日(日)、5月5日(月祝)・18日(日)、
6月1日(日)・21日(土) 各日午後2時～3時
会場 当館 3階 企画展示室に集合
申込 事前申込不要 定員当日先着各日20名



尼崎市立歴史博物館
AMAGASAKI CITY MUSEUM OF HISTORY



〒660-0825 兵庫県尼崎市南城内10番地の2
電話 06-6489-9801(文化財担当)
FAX 06-6489-9800
電車・バス…阪神電車尼崎駅から南東へ徒歩約10分
自動車…玉江橋線開明橋交差点から東へ約500m
隣接する市立城内駐車場(有料)をご利用ください

主催 尼崎市教育委員会・尼崎市
協力 尼崎信用金庫・一般社団法人あまがさき観光局



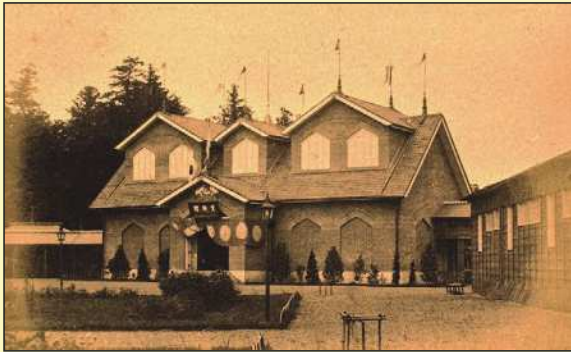
尼崎市立歴史博物館と前庭の鉄鋼戦士像(工業の神)



阪神電車尼崎駅から南東へ徒歩約10分

○明治の博覧会

明治4年(1871)、京都の西本願寺で日本初の博覧会が開催され、翌明治5年には、政府主催の初の博覧会である湯島聖堂博覧会が東京の湯島聖堂大成殿で開催されました。明治10年(1877)には、国内産業の振興を目的とした政府主催の初の全国規模の博覧会である第1回内国勧業博覧会が東京の上野公園で開催されました。内国勧業博覧会は第3回までは上野公園、第4回は京都の岡崎公園、第5回は大阪の天王寺公園で開催され、この3公園は日本の博覧会3大メッカとなりました。第5回内国勧業博覧会では海外参加やアトラクションの充実などにより、博覧会の巨大化・娯楽化が進みました。



第1回内国勧業博覧会(明治10年、1877)では日本で初めての「美術館」が建設されました。この美術館を正面から撮影した写真が当館のコレクションに含まれています。



第4回内国勧業博覧会(明治28年、1895)は平安遷都1100年を記念して京都の岡崎公園で開催されました。このとき、平安神宮も創建されました。博覧会場と平安神宮を描いた鳥瞰図です。



第5回内国勧業博覧会(明治36年、1903)は大阪の天王寺公園で開催されました。博覧会の正門を絵柄にした皿です。

○大正の博覧会

大正期になると、こどもや婦人・衛生・家庭・住宅など産業振興以外をテーマとする博覧会が全国各地で多数開催されるようになりました。東京上野では東京大正博覧会・平和記念東京博覧会、京都岡崎では御大典記念京都博覧会・皇孫御誕生記念こども博覧会、大阪天王寺では大大阪博覧会など、博覧会の3大メッカでは大規模な博覧会が開催され、大正11年(1922)に開催された平和記念東京博覧会では、国内の博覧会としては初めて入場者数が1千万人を超えました。



大正4年(1915)には大正天皇の即位を記念した大典記念京都博覧会が京都の岡崎公園で開催されました。その写真帖の表紙です。



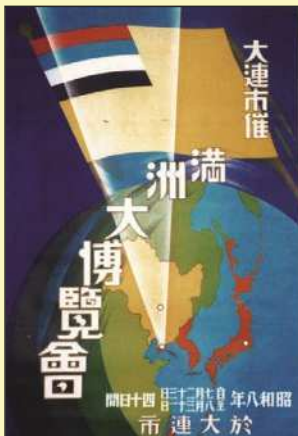
大正11年(1922)には第一次世界大戦終結後の平和を記念した平和記念東京博覧会が東京の上野公園で開催されました。その会場鳥瞰図です。



大正14年(1925)に大阪の天王寺公園等で開催された大大阪博覧会の入場券です。

○昭和戦前の博覧会

昭和初期も全国各地で様々なテーマの博覧会が開催され、日本が支配していた朝鮮や台湾、中国の大連でも博覧会が開催されました。昭和12年(1937)に日中戦争が始まると支那事変や聖戦、国防を冠する博覧会が増加し、博覧会はほぼ戦争一色となりました。昭和15年(1940)には明治以来の念願であった万国博覧会が東京等で開催される予定でしたが、日中戦争拡大・戦時経済体制移行のため昭和13年(1938)に中止が決定しました。



昭和8年(1933)に中国の大連市で開催された満洲大博覧会のポスターです。



昭和10年(1935)に台湾の台北市で開催された台湾博覧会のしおりです。



昭和14年(1939)に福岡県福岡市で開催された聖戦大博覧会のポスターです。



昭和15年(1940)に東京等で開催予定だった紀元2600年記念日本万国博覧会の絵葉書です。